

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2016-135852(P2016-135852A)

【公開日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2015-256085(P2015-256085)

【国際特許分類】

C 08 L 101/10 (2006.01)

C 08 L 101/04 (2006.01)

C 08 K 5/54 (2006.01)

C 08 K 5/17 (2006.01)

C 08 J 3/28 (2006.01)

C 09 D 7/40 (2018.01)

C 09 J 11/02 (2006.01)

C 09 J 201/10 (2006.01)

C 09 D 201/10 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/10

C 08 L 101/04

C 08 K 5/54

C 08 K 5/17

C 08 J 3/28 C E Z

C 09 D 7/12

C 09 J 11/02

C 09 J 201/10

C 09 D 201/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月19日(2018.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 架橋性珪素基含有有機重合体と、

(B) 光塩基発生剤と、

(C) Si-F結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性接着剤。

【請求項2】

(D) 活性エネルギー線開裂型ラジカル発生剤をさらに含有することを特徴とする請求項1記載の光硬化性接着剤。

【請求項3】

前記(B)光塩基発生剤が、光潜在性第3級アミンであることを特徴とする請求項1又は2記載の光硬化性接着剤。

【請求項4】

前記(A)架橋性珪素基含有有機重合体が、1分子中に平均して0.8個以上の架橋性

珪素基を含有するポリオキシアルキレン系重合体、1分子中に平均して0.8個以上の架橋性珪素基を含有する飽和炭化水素系重合体、及び1分子中に平均して0.8個以上の架橋性珪素基を含有する(メタ)アクリル酸エステル系重合体からなる群から選択される1種以上であることを特徴とする請求項1~3のいずれか1項記載の光硬化性接着剤。

【請求項5】

請求項1~4のいずれか1項記載の光硬化性接着剤に対し、光を照射することにより硬化物を形成することを特徴とする硬化物の製造方法。

【請求項6】

請求項1~4のいずれか1項記載の光硬化性接着剤を用いて製造することを特徴とする製品の製造方法。

【請求項7】

(A) 架橋性珪素基含有有機重合体と、

(B) 光塩基発生剤と、

(C) Si-F結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性シーリング材。

【請求項8】

(A) 架橋性珪素基含有有機重合体と、

(B) 光塩基発生剤と、

(C) Si-F結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性ポッティング材。